

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 意見交換を行いました ～(株)カラーリングファーム～
- ➔ 令和2年度農林水産関係予算は2兆3,109億円で決定！
- ➔ 令和元年産水稲の収穫量(福岡県)
- ➔ 明けましておめでとうございます



意見交換を行いました ～(株)カラーリングファーム～

国営基盤整備事業により整備された水田を活用し、高収益作物を栽培

(株)カラーリングファーム(久留米市)

代表：檜原 憲一
法人設立：2011年度
経営面積：田 3.5ha 畑 0.8ha ハウス 77棟
経営品目：ラディッシュ 水菜 ほうれん草
(連作障害を防ぐために、3品目を輪作)
従事員数：21名
(うち、パート10名、技能実習生9名)

高収益作物への取り組み

《ラディッシュに着目》

福岡県はラディッシュの生産量が全国第2位であるが、生産農家数は少ない。また、近年は市場での引き合いも良く、収益性も高い。



《土づくりへの取り組み》

① 取り組みのきっかけ

病虫害の増加に伴い、農薬等の使用量も、年々増加の傾向にあったことから、普及指導センターや先輩農業者等との検討の結果、原因は園芸作物の長期作付けによる土壌環境の悪化ではないかとの結論に至った。

② 全面積で土づくりに取り組む(3年前)

隣接する大木町で栽培される菌床きのこの廃菌床を導入。きのこ栽培農家は処分に困っており、無料か運賃負担のみで入手が可能なのも魅力。

③ 取り組みの成果

ほ場の水はけと土壌環境が改善され、病虫害への耐性が向上し、農薬散布の回数は減少、さらにラディッシュの発色、水菜の香味もよくなった。

「土作りは農業の基本！」を再認識できた。

「カラーリングファーム」の由来

働く個々人の個性(カラー)を尊重し、生かせる農場(ファーム)を作りたいとの思いから命名。



基盤整備の効果

平成3年から随時導入された、構造改善事業(国営の基盤整備事業)や県の高収益作物事業等による区画整理、農道の幅員延長等は、現在の高収益作物の推進に大きく寄与している。

基盤整備を契機に地域で協議会が組織されたことで、個々の農家の意思統一が図られ、ハウス建設時の共同作業や品種の統一等、**営農に関する地域の結びつきが強固となった。**

経営者として思うこと

雇用者の労賃や待遇、労働環境の整備は労働者福祉、労働者確保の観点からも必須である。
経営者側の負担も大きいですが、その負担に耐える強い経営を心掛けている。



令和2年度農林水産関係予算は2兆3,109億円で決定！

「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく改革を着実に実行するための予算を確保し、令和元年度補正予算とともに、切れ間なく支援します。

《R1補正予算及びR2当初予算の主なポイント》

1. 中小・家族経営への支援強化

中小・家族経営の経営基盤の継承円滑化に向け、事業の要件緩和

2. 和牛・乳用牛の増頭・増産対策

輸出拡大に向けた和牛の増産や酪農の生産基盤強化のため増頭奨励金を交付

3. 担い手への支援強化

就職氷河期世代(30代半ば～40代半ば)の就農希望者への研修期間中の資金の交付

4. 農林水産物・食品の輸出力強化

司令塔組織の創設のほか、輸出向けHACCP等対応施設の整備への支援

5. 棚田・中山間地域対策

棚田地域の振興に取り組む地域を支援

6. その他

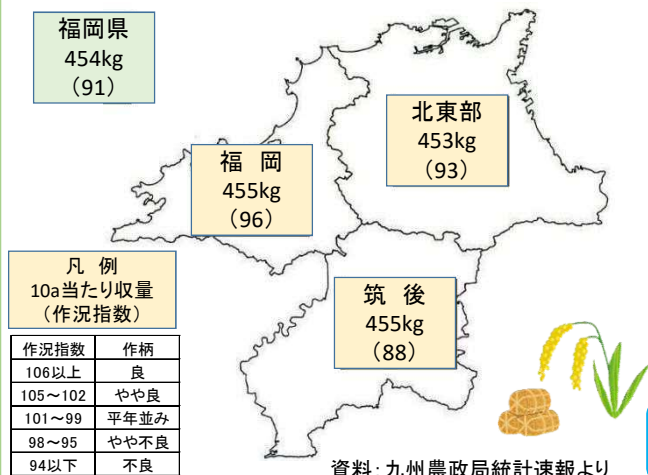
産地生産基盤パワーアップ事業、強い農業・担い手づくり総合支援交付金について、国直接採択事業を創設し、支援

「令和2年度農林水産予算概算決定」及び「令和元年度補正予算」(農林水産省HP)

<http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

令和元年産水稲の収穫量(福岡県)

作柄表示地帯別10a当たり収量



福岡県における水稲の作付面積(子実用)は3万5,000haとなりました。

水稲の作柄は、6月下旬から7月中旬の低温・日照不足により穂数及び全もみ数が少なくなったことに加え、台風及びトビイロウンカによる被害等の影響から、10a当たり収量は454kgとなり、この結果、収穫量(子実用)は、15万8,900tとなりました。

令和元年産水稲の収穫量(九州)(九州農政局HP)

http://www.maff.go.jp/kyusyu/press/toukei/191210_40.html

明けましておめでとうございます

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

今年オリンピックイヤーということで、わが国で開催される一大イベントに気持ちが高揚してきます。同時に、海外からお客さんがたくさん訪れますので、これを機に、国産、特に福岡県産の農産物のPRにつなげることができたらと、期待に胸を膨らませているところです。

さて、福岡県拠点では、今年も農業者の皆様やJA、市町村等にお伺いし、政策や予算を説明させていただくとともに、現場が抱える課題について、ともに解決を図っていきたくと考えています。特に、「人・農地プランの実質化」や「棚田・中山間地域対策」などのテーマについて、重点的に意見交換をさせていただく予定ですので、よろしく申し上げます。

今年こそ災害がなく、皆様とともに、豊作を喜べる秋を迎えられることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

九州農政局 福岡県拠点 地方参事官 足立 整

【お問合せ先】九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261(代表)
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>